

## 近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。



東大・経済  
52  
1293

享保十二丁未年十月五日

享保十二年未、明和九年辰  
(二七二七) (二七七二)

大條

聖無動院年預之時

大條

享保十三丁未年十月廿日

聖安勃流子貞時

經濟學部  
研究會  
5

經濟學部  
研究會  
5  
12/3



38931

# 宣



後之恒成不宣及以故白後之停止  
可一後之恒成讓狀及以故白  
宣等之宣等及以故白

享保十二庚午十月廿日 集議



定

二十人校合事

平相月新... 校合... 平相月... 校合... 平相月... 校合...



平相月... 校合... 平相月... 校合... 平相月... 校合...

享保十九年十一月... 集...





法友條

一 正平元年中勅撰作鳥羽年記傍に押込  
設強河一池隆勅使方之御外書卷石室事の  
尤其治理難者之由申共たに日何後志  
之旨事正平年中嘗て用事ありた  
中平平人<sup>中</sup>次平人<sup>中</sup>元徳<sup>中</sup>之旨事論

正平年中<sup>中</sup>他<sup>中</sup>門<sup>中</sup>同<sup>中</sup>之旨事<sup>中</sup>片<sup>中</sup>中<sup>中</sup>也<sup>中</sup>  
右背在<sup>中</sup>河後<sup>中</sup>河<sup>中</sup>上<sup>中</sup>平<sup>中</sup>事<sup>中</sup>

一 惟安會之頃<sup>中</sup>各<sup>中</sup>今<sup>中</sup>料<sup>中</sup>等<sup>中</sup>之<sup>中</sup>在<sup>中</sup>所<sup>中</sup>對<sup>中</sup>  
之<sup>中</sup>拘<sup>中</sup>平<sup>中</sup>人<sup>中</sup>中<sup>中</sup>也<sup>中</sup>名<sup>中</sup>格<sup>中</sup>之<sup>中</sup>日<sup>中</sup>何<sup>中</sup>後<sup>中</sup>在<sup>中</sup>其<sup>中</sup>邊<sup>中</sup>  
是<sup>中</sup>又<sup>中</sup>在<sup>中</sup>河<sup>中</sup>邊<sup>中</sup>河<sup>中</sup>中<sup>中</sup>之<sup>中</sup>旨<sup>中</sup>事<sup>中</sup>上<sup>中</sup>平<sup>中</sup>事<sup>中</sup>  
右元徳<sup>中</sup>一<sup>中</sup>之<sup>中</sup>旨<sup>中</sup>事<sup>中</sup>相<sup>中</sup>定<sup>中</sup>之<sup>中</sup>旨<sup>中</sup>事<sup>中</sup>何<sup>中</sup>後<sup>中</sup>在<sup>中</sup>其<sup>中</sup>邊<sup>中</sup>

唐方之河内中... 志

志

嘉慶元年己卯七月

濟性流

世重貴流

天德流

成福流

特明流

平等流

蓮花流

普集流

明且流

合對頂流

眉髮流

山意輪

合對流

高堂流

西南院

正智院森

高祖院普永

蓮金院維

通照院義美

清淨院

小室院堯昌

定

青巖子以年勤六未未以伐採七付  
延年樓 亦由風雨五公就六又七須  
至分八中九乃十有十一之十二交十三轉十四外十五荒  
年十六竟十七六十八年十九未二十亦二十一勤二十二為二十三取二十四之二十五給二十六友  
伐二十七采二十八山二十九之三十改三十一道三十二苑三十三不三十四宜三十五依三十六之三十七及





卷之二 卷終

集議中



覺

一書心内心之先以有青嚴筆之修持生年

六本之末筆筆之修持在修持用修持之修持

修持之修持之修持之修持之修持之修持之修持

修持之修持之修持之修持之修持之修持之修持

修持之修持之修持之修持之修持之修持之修持



定

一新令申上同言候事  
石申候事申上同言候事  
事記了

一初令候合候事申上同言候事  
申上同言候事申上同言候事  
申上同言候事申上同言候事

候合申上同言候事  
申上同言候事申上同言候事  
申上同言候事申上同言候事  
申上同言候事申上同言候事  
申上同言候事申上同言候事

一初令候合候事申上同言候事  
申上同言候事申上同言候事  
申上同言候事申上同言候事  
申上同言候事申上同言候事







延慶院二福運院之宗院 指書之宗本卷原  
 主役之成就初出此中 精義之門下之指書之原  
 主役之成就之 指書之宗本卷原  
 通以指書之宗本卷原 公之指書之原  
 指書之宗本卷原

附上之指書之宗本卷原 公之指書之原

延享五年辰月丙午日 延慶院



延享五年辰月丙午日 延慶院 著明房 文合 公之指書  
 二宗人 延享五年辰月丙午日 延慶院 著明房 文合 公之指書  
 即奉行新法法圖 公之指書之宗本卷原  
 新法之宗本卷原 公之指書之宗本卷原  
 新法之宗本卷原 公之指書之宗本卷原  
 新法之宗本卷原 公之指書之宗本卷原

定



一 碩學集藏之旨 世之稱頌之者皆謂頤

正統以來之道小正統以來之學

丙午年甲子將不方一應延慶之儀

之(追言)程氏小集藏甲午年甲子

之巨細之志亦卷以終之時其在再建之

汝若

右之件之大意固亦為小正統之上初也

好之我之但也情狀卷之自能快害也願

之半業古慎之學 神妙小勸力等性

天下泰平小家女寧後山靜澄人信經澄

精新之介之也故念也言一合之海原

寬延元年 在國十月

右之通大也一因順慶之仕也法一以信也

甲上正統

在十一月

寺務志藏寺恭翁

天

寺務志藏寺恭翁



寶性院弘範

西南院長觀

蓮花院源慧

龍光院者永

小室院喜

西室院景鳳

清淨院施

自然院實道

一乘院實

正堂院

通照院藏

智在院

天德院

大樂院

心南院

正智院

吉集院

金剛院

西福院

秋田院

右寶延二巳年正月十八日座別形年



一 尚院 庶務 事務 次第 先 考 之 後 之 後 之 後  
物 之 中 申 言 人 也 上 所 按 申 下 後 考  
し 叙 任 物 許 考 之 叙 任 下 地 例 之 申 述  
叙 人 之 許 考 例 之 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任  
許 考 之 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任  
叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任  
叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任

物 之 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任  
叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任  
叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任  
叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任

一 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任  
叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任  
叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任  
叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任  
叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任  
叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任  
叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任  
叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任 叙 任

行善和應好慈愛之流以教者以本心經流  
之見念存德之令以善德之助者以流  
聖之國政之正善精一切之令以善德之  
出善德之令正善精一切之令以善德之  
地法之正善精一切之令以善德之  
之國之正善精一切之令以善德之  
之令以善德之正善精一切之令以善德之

之令以善德之正善精一切之令以善德之  
之令以善德之正善精一切之令以善德之  
之令以善德之正善精一切之令以善德之  
之令以善德之正善精一切之令以善德之  
之令以善德之正善精一切之令以善德之

此乃後流也

寛延二己年

二月廿六日

漢藏



定

職院昇進  
後考院  
現年貳拾有餘  
秋考  
彼等

右院評事

庚辰九年

八月廿五日

集議



右院評事  
後之今  
右院評事  
月

定

一令刻之味院正務宗純房儀新字正持  
之令之出也増福院之儀授授之時令正奉  
正徳元年之定書吟味之上一昨夜宣之  
當讀書時政務正正即當令刻之味院儀  
授授之時令正奉正之仁正正正讀書  
正正正正正正正正正正正正正正正正  
當年令及勝儀出仕之仁神正慶新學正

正正正正正正正正正正正正正正正正  
儀之正正正正正正正正正正正正正正  
新學正正正正正正正正正正正正正正  
正正正正正正正正正正正正正正正正  
正正正正正正正正正正正正正正正正  
正正正正正正正正正正正正正正正正  
正正正正正正正正正正正正正正正正  
正正正正正正正正正正正正正正正正  
正正正正正正正正正正正正正正正正  
正正正正正正正正正正正正正正正正



本館長孫斌之上所定之書也

明和九年

六月廿六日

集議中



古之通書也其在二四法元年之書也其書  
用筆法修飾有法乃今真書也其書也

存法定書也其書也其書也其書也其書也  
其書也其書也其書也其書也其書也其書也  
其書也其書也其書也其書也其書也其書也





